**公益社団法人日本精神保健福祉士協会大阪府支部第１３回社員総会　議事録**

開催日時：２０１９年6月8日（土）午前１０時００分～午前１０時３０分

開催場所：東成区民センター小ホール

■出席理事

萩原 敦子、金 文美、島田 泰輔、阪口　久喜子、村上 貴栄、伊藤　大士、大垣 尚久、岡本 貴弥、

黄瀬 忠博、國宗 美里、玉岡 枝里子、津野 智彦、中島 憲行、古市 尚志、溝上 亮二、溝口 大輔、

鈴木 和雄、小野 史絵、横溝 稔

■司会進行：三家クリニック みつや相談支援事業所　玉岡理事

＊議事については事前に会員に総会議案書を送付した。

■萩原会長挨拶

■議長選出：阪南病院　田渕氏

■出席者数の確認

出席者４２名、委任状１５５名　計１９７名

■各議案の報告及び説明

いずれも萩原会長が報告、説明。

第１号議案　２０１８年度活動報告

代議員総会、近畿ブロック会議の参加について内容を報告。

児童福祉司に社会福祉士、精神保健福祉士の配置を求める活動や生活保護制度における夏期加算の新設等に関するソーシャルアクションについて、会員拡大を図るための協会入会金の免除制度について、ソーシャルワーカーの職域拡大に伴うPswの名称の英語表記変更、旧優生保護法による不妊治療強制問題についてなどが話された。また大阪Psw協会が日本協会と災害活動に関する協定を締結している事から合同事業としての役割を担い、これに基づき２ヶ月ごとの災害対策委員会の設置や日本協会が行う災害対策委員講習会、京都府支部・京都府協会合同研修への参加を行った。

第２号議案　２０１９年度活動報告（案）

活動計画として①政策提言②人材育成③組織強化を重点課題として掲げる。また日本協会との組織的連動連携、検討と整備を昨年度同様行う。また総会代議制に伴う大阪府支部構成の意見集約を行う。災害時における支援ネットワークの構築も引き続き行っていく。

■質疑応答

浅香山病院今西氏より災害対策の件で質問有。災害対策についてどこまで準備しているのか等の具体的な活動について、日本協会と大阪協会それぞれの役割の違いについて、構成員への広報の仕方はどうなっているのかについての質疑があった。構成員に対しての広報の仕方については今後の課題であり検討が必要と返答する。

■採決

第１号、２号議案を賛成多数で可決。